

(報告) ユーザー理解活動の取組状況

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2022年12月23日

《目次》

1. 2022年度ユーザー理解活動の計画	・・・	P2
2. 地域ユーザーを対象とした普及啓発の取組み	・・・	P4
3. 小学生等を対象とした学習支援	・・・	P5
4. 若年層を対象とした現場見学会を開催	・・・	P8
5. 自動車教習所での取組み	・・・	P9
6. 活動費の執行状況(～第2Q)	・・・	P10

1. 2022年度ユーザー理解活動の計画 その1

【目的】

- 2021年7月自動車リサイクルに関する合同会議（産業構造審議会、中央環境審議会）の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」の提言に基づき、幅広い観点からユーザーの理解を促進するため、関係者間の連携を促進しつつ、より透明性の高い情報発信を行う。また、ユーザーと事業者間の円滑な取引に寄与するため、「情報の非対称性」を緩和すべく、制度におけるユーザーの役割について普及啓発に取り組む。

【活動方針】

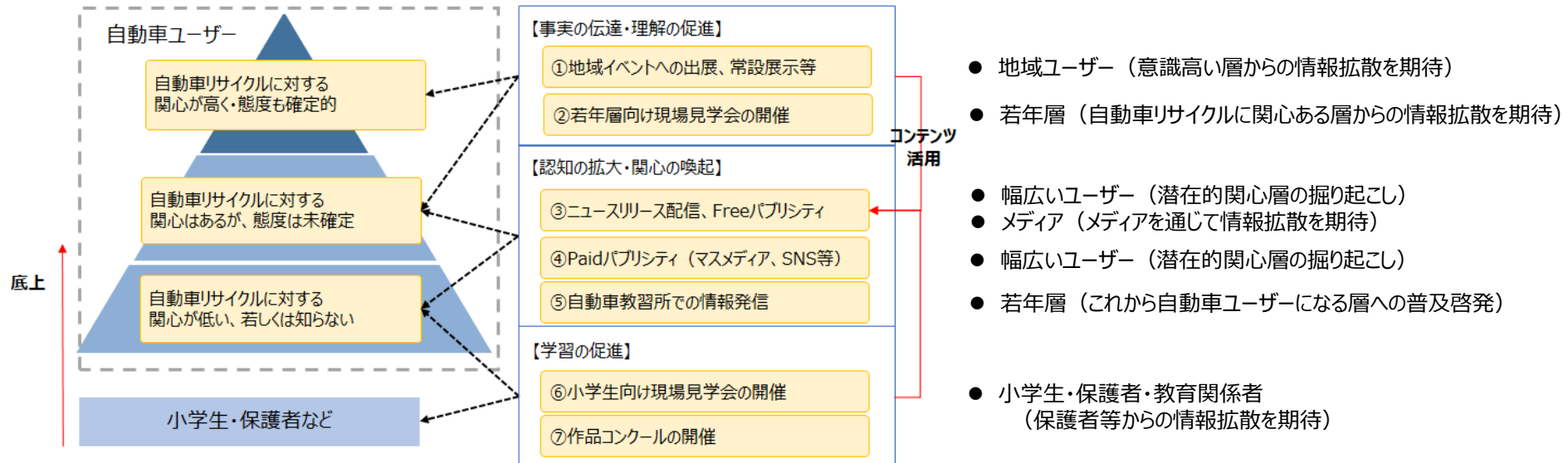
- 地域・年齢などのターゲットの特性を意識するとともに、コスト効率が良い手法を用い、ユーザーにとって利便性が高く、質の高い情報を発信する。
- ユーザーが自動車リサイクルの「現場・現物・現実」に接する機会を創出・拡大することにより、「認知拡大」・「関心喚起」に向けたこれまでの取組みに加え、ユーザーの行動変容にも資する「理解の深化」にも力点を置いて情報を発信する。

ユーザーの関心・態度に合わせた展開図

<自動車リサイクルへの関心・態度>






<施策例>

<ターゲット>



1. 2022年度ユーザー理解活動の計画 その2

活動スケジュール

#	施策例 (一例)	ターゲット例	1Q	2Q	3Q	4Q
1	【取組み改善】 地域イベントを活用した普及啓発	学生・青少年・その保護者 教育関係者 環境に関心ある層		★ 函館市 ★ 秋田市 ★ 金沢市 ★ 名古屋市 ★ 広島市	★ 北九州市 ★ 福岡市 ★ 東京 ★ 京都市	10か所出展
2	【取組み改善】 常設展示施設を活用した普及啓発	学生・青少年・その保護者 環境に関心ある層 教育関係者	(東京) 科学技術館 (大阪) おおさかATCグリーンエコプラザ		 ※ポスター展示イベントを開催、展示内容の見直しを進める	
3	【新規】 運転免許センター等を活用した普及啓発	運転免許を更新する方々		 現在協力いただいている神川県警察運転免許センターの成功事例を下にし、拠点拡大に向けて各方面と調整を進める。		
4	【取組み改善】 小学生やその保護者を対象とした施策を通じた普及啓発	小学生・その保護者 教育関係者 地域メディア	新聞社選定 個別表彰実施 3か所訪問	記事制作・展開 小学校等への展開 6か所実施	コンクール開催、作品募集 応募作品の審査 現場見学会を実施	表彰式
5	【取組み改善】 自動車教習所を活用した普及啓発	若年層 (18~30歳)	新動画制作 大手250か所で動画配信	16万回配信	目標: 11,000件超	75万部展開
6	【新規】 若年層を対象とした現場見学会等	若年層 (18~30歳)	事業者選定・関係者との調整	現場見学会 (5か所) + α 5か所実施		
7	【新規】 Radikoの活用 デジタルの活用 【取組み改善】 BS波での配信 地上波での配信 等	幅広ユーザー 特定ユーザー ※特性に応じて情報	制作会社選定	ラジオ音源制作 BS波、地上波・ラジオ、Youtube等にて配信		述べ接触者数 1億5千万人

2. 地域ユーザーを対象とした普及啓発の取組み

- 自治体等が主催する地域イベントへの出展を通じて、地域ユーザーに向けた普及啓発に取り組み中。

<出展計画と実施状況>

エリア	開催地	イベント名	開催予定日	出展方法
北海道	札幌市	環境広場さっぽろ2022	7/30-31	リアル
	函館市	函館エコフェスタ	7/30	パネル展示
東北	秋田市	あきたエコ&リサイクルフェスティバル	10/8-9	リアル
関東	東京	エコプロ	12/7-9	リアル
北陸	金沢市	いしかわ環境フェア	8/20-21	リアル
中部	名古屋市	環境デー-なごや中央行事	9/17	リアル
近畿	京都市	京都環境フェスティバル	11月-12月	オンライン
中国 四国	広島市	「環境の日」広島大会	6月-7月	オンライン
九州	福岡市	環境フェスティバルふくおか	10/29-30	リアル
	北九州市	エコライフステージ	11/19-20	リアル
	鹿児島市	環境フェスタかごしま	10/15-16	リアル

①秋田市イベント

- 名称：第20回あきたエコ & リサイクルフェスティバル
- 主催：あきたエコ&リサイクルフェスティバル実行委員会
- 日程：10/8(土)、10/9(日)
- 会場：アルヴェ 1階きらめき広場
- アンケート回収数：636件



②名古屋市イベント

- 名称：環境デー-なごや2022 中央行事
- 主催：「環境デー-なごや」実行委員会
- 日程：9/17(土)
- 会場：久屋大通公園
- アンケート回収数：410件



④鹿児島市イベント

- 名称：環境フェスタかごしま2022
- 主催：環境フェスタかごしま実行委員会
- 日程：10/15(土)、10/16(日)
- 会場：かごしま環境未来館
- アンケート回収数：707件



③福岡市イベント

- 名称：環境フェスティバルふくおか2022
- 主催：環境フェスティバルふくおか実行委員会
- 日程：10/29(土)、10/30(日)
- 会場：福岡市役所 西側ふれあい広場
- アンケート回収数：900件



3. 小学生等を対象とした学習支援 その1

- 小学生等を対象とした自動車リサイクルの現場の取組みを紹介する見学会を順次開催。
- 様々なメディアで見学会の様子が紹介され、幅広くユーザーに情報を届けることができた。

<現場見学会の開催計画と実施状況>

観点	ご協力をいただいている関係団体・事業者		開催日	参加者数
製造事業者の取組	日本自動車工業会	【群馬県】株式会社SUBARU	11/10	予定：46名
販売事業者の取組	日本自動車販売協会連合会	【宮城県】宮城スバル自動車株式会社	8/19	実績：28名
オークション会場の取組	日本中古車販売協会連合会	【北海道】札幌地方中古車販売事業協同組合	8/5	実績：10名
整備事業者の取組	日本自動車整備振興会連合会	【長崎県】有限会社宮崎自動車整備工場	11/30	予定：10名
解体事業者の取組	日本自動車リサイクル機構	【岡山県】株式会社桃太郎部品	9/22	実績：95名
破碎事業者の取組	日本鉄リサイクル工業会	【北海道】株式会社鈴木商会	9/6	実績：70名



解体事業者での見学会（9/22）



座学の様子



見学の様子

破碎事業者での見学会（9/6）



座学の様子



見学の様子

3. 小学生等を対象とした学習支援 その2

- 小学校の学校授業で役立ててもらうため、自動車リサイクルに関する記事を全国小学校等に配付。

【販売事業者編】(宮城スバル自動車株式会社)



記事URL : <https://www.jarc.or.jp/trend/15105/>

【オークション会場編】(札幌地方中古車販売事業協同組合(JU札幌))



記事URL : <https://www.jarc.or.jp/trend/15393/>

【整備事業者編】(宮崎自動車整備工場)



記事URL : <https://www.jarc.or.jp/trend/15366/>

【製造事業者編】(株式会社SUBARU 群馬製作所矢島工場)



記事URL : <https://www.jarc.or.jp/trend/15401/>

4. 若年層を対象とした現場見学会を開催

- 自動車リサイクルの「現場・現物・現実」に接する機会となる見学会を順次開催中。
- 様々なメディアで見学会の様子が紹介され、幅広くユーザーに情報を届けることができた。

<現場見学会の開催計画と実施状況>

(協力団体) 特定非営利活動法人 RUMアライアンス

ご協力をいただいている解体事業者	開催日	参加者
【石川県】会宝産業株式会社	7/19	金沢工業大学
【茨城県】カーレポ株式会社	10/7	つくば自動車大学校等
【栃木県】株式会社エコアール	11/15	武蔵野大学
【福島県】株式会社ナプロアース	11/18	福島大学

カーレポ株式会社での見学会



座学の様子



見学の様子

株式会社ナプロアースでの見学会



座学の様子



みんなで記念撮影

株式会社エコアールでの見学会



座学の様子



見学の様子

5. 自動車教習所での取り組み

4月から9月までの6か月間で、

- 運転免許学科教本約33万1千部に情報を掲載。
- 全国250か所の教習所にて動画を約209万8千回配信。

(1) 運転免許学科教本への掲載情報

未来の地球のために!進め!クルマのリサイクル
循環型社会の実現に向けたクルマのリサイクルの取り組みを知ろう!

楽しく学べるクルマのリサイクル
特設ページ OPEN

自動車リサイクルタウンへ
行ってみよう!

それぞれの建物では、冊子や映像、リサイクルの現場を
体験できるツアー、クイズやコンクール作品など
様々なコンテンツが見られるよ。

ご視聴はこちらから

金属類は原材料に戻して
様々な製品に使われます。

買ったシュレッダーは
ユーザーが支払った
リサイクル料金を使って
さらに原材料に戻したり
燃焼して再利用されます。

買った車体などは
シュレッダー機で
粉砕されます。

まだ使える部品は
取り外して中古部品として
流通されます。

ユーザーが支払ったリサイクル料金を使って
エアバッグは取り外して
燃焼されます。

天然資源の使用を少なくしたり
リサイクルのしやすさを重視したクルマが
つくられています。

クルマを買ったとき
リサイクル料金をとして
約6,000-18,000円を支払います。

ユーザーは車を高く
大切に売ります。修理のとき
リサイクル部品を
買うようにします。

リサイクル部品を使うことのメリット

環境負荷削減 新品がより
エネルギー節約の 効果が期待
できる。

ユーザーは使わなくなったクルマを
買取業者に引き渡します。

ユーザーが支払ったリサイクル
料金を使って、フロン量は回収して
燃焼されます。

詳しくは自動車リサイクル促進センター HP まで

JARC 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター <https://www.jarc.or.jp/>

(2) 配信中の動画コンテンツ

「自動車リサイクル」からのメッセージ クルマを使う私たちの役割

動画URL : <https://www.youtube.com/watch?v=s8CTqSWvas4>



※視聴状況に応じて、差し替える動画



くるくるダンスで自動車リサイ
クルを学ぼう!

<https://www.jarc.or.jp/dance/>



絵本動画『ゴミ人間ペルと
クルマくん』

<https://www.jarc.or.jp/book-video/>



QuizKnockと一緒に自動車
リサイクルを学ぼう!

<https://www.jarc.or.jp/quiz/>

6. 活動費の執行状況（～第2Q）

2022年4月から9月末までの活動に要した費用は、10,162万円(執行率90.2%)であった。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

(単位：万円)

#	取組みの目的	施策例	年度 計画額	第1Q・第2Q		
				計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域ユーザーの知る機会の創出 ➤ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域イベントへの出展・参加 ▶ 常設展示施設での普及啓発 	2,450	634	526	83.0%
2	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 小学生の学びの機会の創出 ➤ 小学生の保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 関係者の努力・工夫を紹介 ▶ 学校教育に役立つ情報を提供 ▶ 作品コンクールを開催 	7,250	2,784	2,100	75.5%
3	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 若年層の知る機会の創出 ➤ 若年層の学びの機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自動車教習所での普及啓発 ▶ 関係者の努力・工夫を紹介 	2,750	1,215	1,216	100.0%
4	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各施策の相乗効果を高める取組み ➤ 音や映像による認知拡大・関心喚起 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ニュースリリースの積極配信 ▶ その他のパブリシティ活動 	0	0	0	0
		<ul style="list-style-type: none"> ▶ メディアを通じて音源・動画の配信 	10,680	5,433	5,403	99.5%
5	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 透明性の確保、発信情報の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公式ウェブページ等の制作・改善等 ▶ チラシ・ポスター等の制作・増刷等 	2,970	1,100	834	75.8%
6	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ユーザーの認知状況の把握 他 	100	100	84	84.1%
合 計			26,200	11,265	10,162	90.2%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない。ユーザー理解活動に要した費用は特預金と繰越金から負担される。

<https://www.jarc.or.jp/>